

昭和 59 年 度

秋田県環境技術センター年報

第 12 号

秋田県環境技術センター

は　じ　め　に

国政の最重点課題として行財政改革が強力に推進される中で、本県でも、地方行財政改革に県を挙げて取り組んでおります。また、大工場の極く少ない本県では、公害即産業公害の短絡した意識が、産業公害の改善と共に、公害に対する関心を著しく減退させつつあります。この様な条件下、環境監視網ならびに、検査業務の見直し、予算減等々、我々を取り巻く環境が非常に厳しくなっております。

しかし、北国の一隅にあっても、生活環境の現状は数多くの問題を内蔵しており、また住民のより快適な環境を望むニーズが高まりつつあると思います。我々としては、現状の監視業務のみに終らず、将来展望の上に立って、県民のニーズに応える事ができるよう、積極的に運営して、県民生活環境の保全・管理に幾分たりとも寄与すべく努力しております。

ここに、昭和59年度の業務実績をとりまとめ、秋田県環境技術センター年報第12号として、皆様の所にお届けします。御高覧の上、御批判、御指導下さるようお願い致します。

昭和 60 年 11 月

秋田県環境技術センター

所 長　三　浦　竹治郎

目 次

は じ め に	
I 沿 革	1
II 庁舎の概要	1
1 位 置	1
2 敷地面積	1
3 建 物	1
4 建物の主な内訳	1
5 庁舎平面図	3
III 組 織	5
1 機構と事務分掌	5
2 職員配置	5
3 職員名簿	6
IV 予 算	8
V 主要機器	9
VI 業務概要	11
1 大気関係	11
(1) 排出基準検査	11
(2) 使用燃料油の硫黄分検査	11
(3) 浮遊粉じん調査	13
ア 秋田市街地域	13
イ 製錬所周辺地域	13
(ア) 鹿角郡小坂地域	13
(イ) 山本郡八森地域	13
(ウ) 秋田市茨島地域	13
(エ) 秋田市飯島地域	13
(4) 騒音・振動	26
ア 騒音に係る環境基準の類型あてはめの環境騒音実態調査	26
イ 秋田空港周辺航空機騒音調査	26

ウ	東北縦貫自動車道自動車交通騒音・振動実態調査	26
エ	能代港湾整備事業騒音振動調査	26
オ	男鹿市船川港内公有水面埋立事業（国家石油備蓄基地用地） に係る騒音・振動調査	26
カ	特定工場等騒音・振動実態調査	26
(5)	悪臭調査	27
(6)	道路沿線における道路粉じん等実態調査	27
(7)	雨水成分調査	27
2	秋田県における大気汚染常時測定局の測定結果	27
(1)	測定局の現況	27
(2)	測定結果および考察	29
ア	一般大気環境	29
(ア)	風向・風速	29
(イ)	二酸化硫黄	29
(ウ)	窒素酸化物	36
(エ)	一酸化炭素	39
(オ)	オキシダント	40
(カ)	炭化水素	42
(キ)	浮遊粒子状物質	44
(ク)	浮遊粉じん	45
(ケ)	地域別濃度	47
イ	自動車排出ガス測定結果	47
(ア)	窒素酸化物	47
(イ)	一酸化炭素	49
3	水質関係	52
(1)	水質環境調査	52
ア	十和田湖水質環境調査	52
イ	田沢湖水質環境調査	53
ウ	八郎湖水質環境調査	53
エ	八郎湖周辺河川水質環境調査	54

(2) 工場・事業場排水基準調査	55
(3) 八郎湖水質汚濁機構解明調査	55
(4) 生活雑排水の浄化試験	59
(5) 出羽丘陵北部・東部・西部地区水質調査	61
4 土壌関係	61
(1) 土壌汚染対策調査	61
ア 細密調査	61
イ 汚染米調査	61
(2) 休廃止鉱山対策調査	62
(3) 酸性雨による土壌影響調査	62
(4) 土壌汚染環境基準設定調査	62
(5) 酸性雨による陸水影響調査	62
VII 報 文	63
・道路近傍における浮遊粉じん等の実態について（Ⅲ報）	63
・都市中小河川の水質日変動と生活パターンとの関連性について	76
・秋田市内における雨水成分の調査結果について（第2報）	94
VIII 調査資料	109
・小型気象ゾンデシステムによる気象要素の鉛直分布の観測	109
IX 学 会 等	115

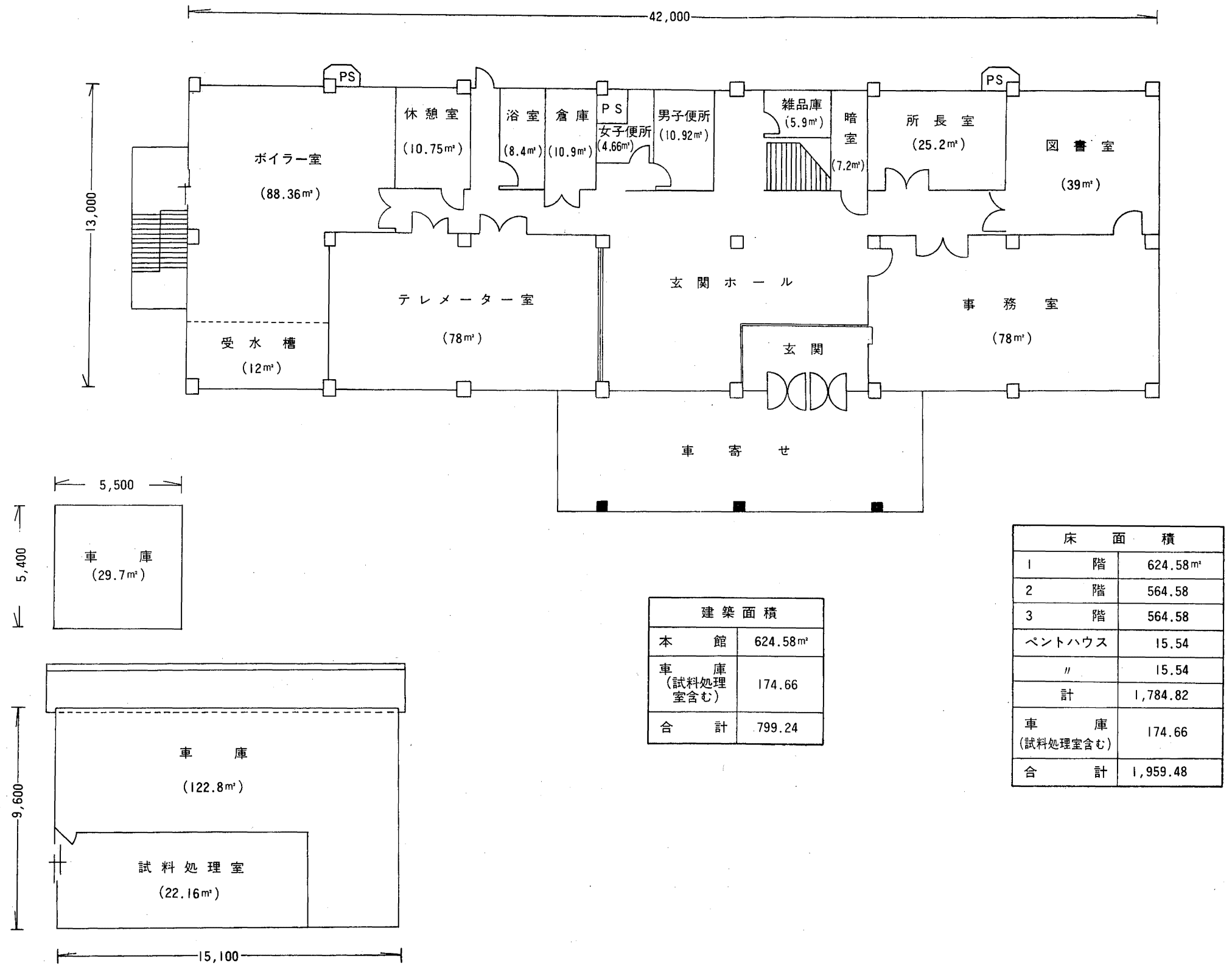
I 沿革

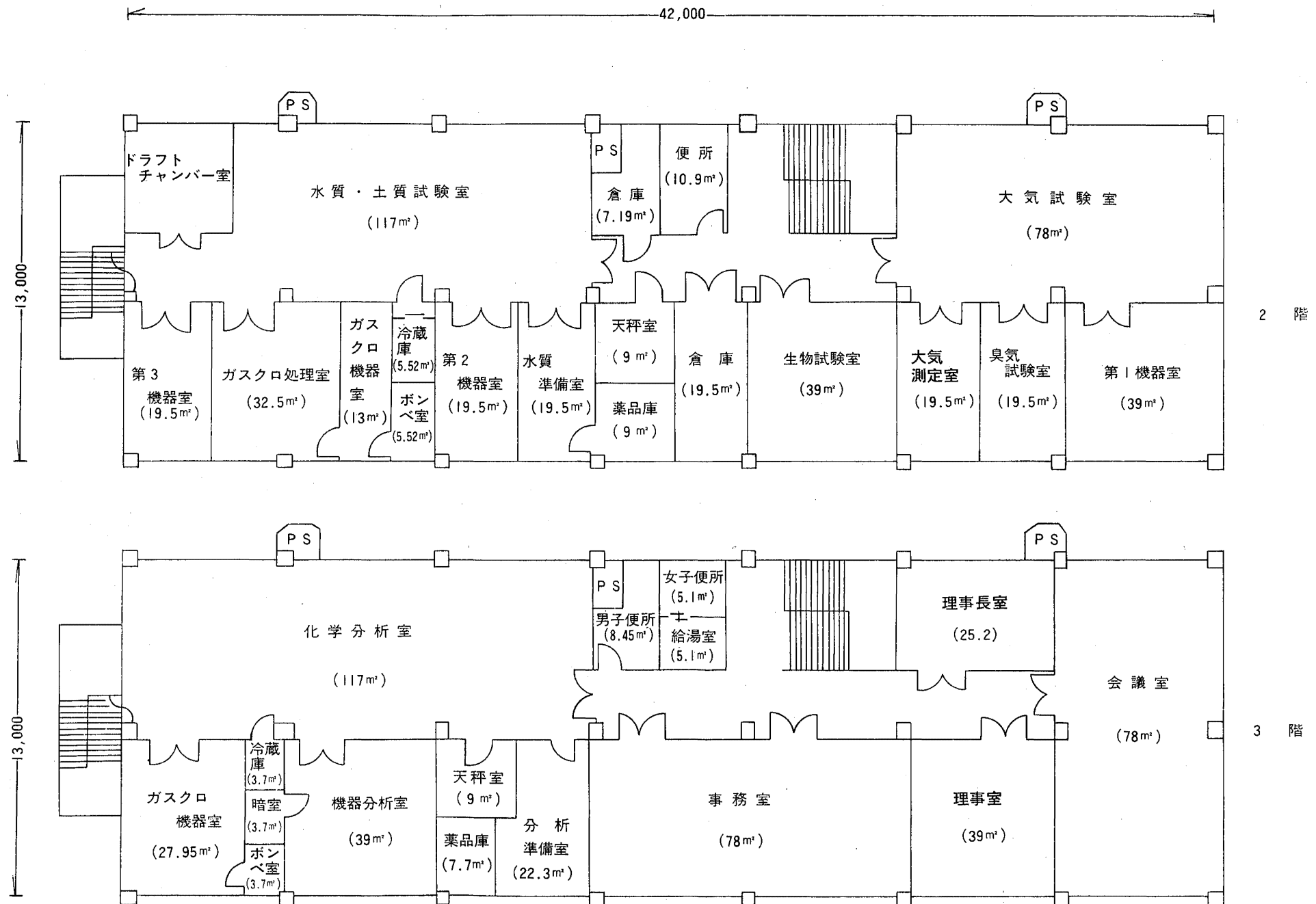
昭和45年 7 月 1 日	秋田県公害技術センター設置 大気科、水質科 2 科で発足 設置場所→秋田県工業試験場内
昭和46年 4 月 1 日	土質科増設
昭和46年10月 1 日	企画開発部から環境保健部所属換
昭和48年 4 月 1 日	テレメーター係、管理係増設
昭和48年 7 月19日	現庁舎完成
昭和55年 7 月 1 日	公害技術センター設置10周年記念行事実施
昭和56年 4 月 1 日	環境保健部から生活環境部所属換 環境技術センターに名称換
昭和58年 4 月 1 日	テレメーター係を大気科に統合

II 庁舎の概要

1 位 置	秋田市八橋字下八橋 191－18	
2 敷地面積	6,664.54 m^2	
3 建 物	鉄筋コンクリート造 3 階建 延 1,977.06 m^2	
4 建物の主な内訳		
1 階	テレメーター室、所長室、事務室、図書室、ボイラー室	624.58 m^2
2 階	大気、臭気、生物、水質、土質の各試験室、ガスクロ機器室	564.58 m^2
3 階	会議室、(財)秋田県分析化学センター	564.58 m^2
4 階	ペントハウス	31.08 m^2
	車庫 (試料処理室含む)	174.66 m^2
	ガラス室	17.58 m^2

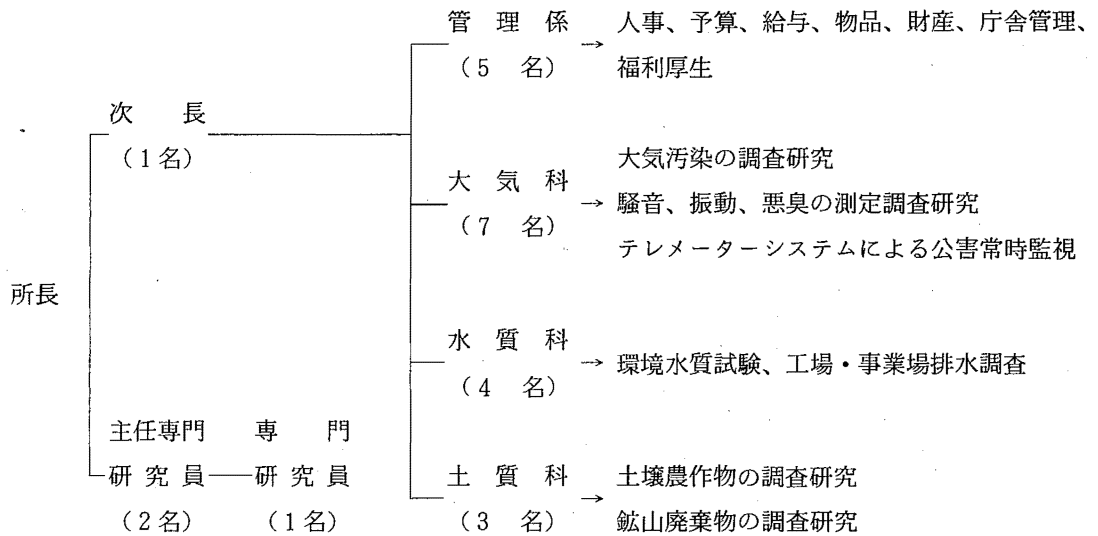
5 庁舎平面図





Ⅲ 組 織

1 機構と事務分掌



2 職 員 配 置

60.4.1 現在

区分 \ 職種	事務吏員	技術吏員	運転技師	計
所 長		1		1
次 長	1			1
主任専門研究員		2		2
専門研究員		1		1
管 理 係	3		2	5
大 気 科		7		7
水 質 科	1	3		4
土 質 科		3		3
計	5	17	2	24

3 職 員 名 簿

60.4.1 現在

科 係 名	職 名	昭 和 59 年 度	昭 和 60 年 度	備 考
		氏 名	氏 名	
	所 長	三 浦 竹治郎	三 浦 竹治郎	
	次 長	伊 藤 富津雄	伊 藤 富津雄	
	主 任 専 門 員	藤 盛 義 英	藤 盛 義 英	
	"	大 橋 猛	大 橋 猛	
	専 門 研 究 員		高 田 熙	水質科長から
	"	穴 倉 正 一		横手保健所へ
管 理 係	係 長	北 島 静 一	北 島 静 一	
	主 任	桑 原 恵 子	桑 原 恵 子	
	主 事	吉 田 和 彦	吉 田 和 彦	
	技師(運転)	米 田 信 夫	米 田 信 夫	
	"	鈴 木 春 樹	鈴 木 春 樹	
大 気 科	科 長	小 玉 幹 生	小 玉 幹 生	
	主任技術員	国 部 十二郎	国 部 十二郎	
	主 任	斎 藤 学	斎 藤 学	
	技 師	泉 博 克	泉 博 克	
	"	藤 島 直 司	藤 島 直 司	
	"	斎 藤 勝 美	斎 藤 勝 美	
	"		高 橋 浩	環境保全課から
	"	信 太 穰		能代保健所へ
水 質 科	科 長		瓜 生 信 彦	主任から
	"	高 田 熙		専門研究員へ

科 係 名	職 名	昭 和 59 年 度	昭 和 60 年 度	備 考
		氏 名	氏 名	
水 質 科	主 任		湯 川 幸 郎	土質科から
	”	瓜 生 信 彦		水質科長へ
	”	片 野 登		秋田保健所へ
	主 事		塚 田 善 也	鷹巣保健所から
	技 師	石郷岡 晋	石郷岡 晋	
土 質 科	科 長	武 藤 公 二	武 藤 公 二	
	主 任		菅 雅 春	秋田保健所から
	”	湯 川 幸 郎		水質科へ
	技 師	松 田 恵理子	松 田 恵理子	

IV 予 算

(単位：千円)

款	項	目	節	59 年 度 予 算 額	60 年 度 予 算 額	備 考
衛 生 費	環境衛生費	公害対策費	報 酬	857	882	
			共 済 費	401	374	
			賃 金	3,990	3,829	
			報 償 費	118	104	
			旅 費	2,854	2,704	
			需 用 費	42,677	42,034	
			役 務 費	15,568	12,819	
			委 託 料	12,117	13,272	
			使用料及び 賃 借 料	192	132	
			工事請負費	330	—	
			備品購入費	19,539	15,651	
			負担金補助 及び交付金	35	35	
			公 課 費	97	121	
計				98,775	91,957	

V 主 要 機 器

機 器 名	規 格	数 量	備 考
テレメーター装置一式	日 立	1	
風 向 ・ 風 速 計	光 進 MV-110 海上電機 SA-200	13	
一酸化炭素自動測定機	日立堀場 APMA-2,000 APMA-3,000	7	
二氧化硫黄自動測定機	電気化学 紀 本 GRH-73 316	19	
窒素酸化物自動測定機	紀 本 212・214 電気化学 GPH74	18	
オキシダント自動測定機	京都電子 柳 本 OX-07 TCA-300	6	
炭化水素自動測定機	日立堀場 島 津 APHA-3,000 HCM-3AS	2	
標準オゾン計校正装置	紀 本	1	
標準ガス発生装置	紀 本 SGG-2	1	
アンダーセンスタック サンプラー	高 立 KA-500	1	
煙道二酸化イオウ分析計	高 立 KS-3,000	1	
アンダーセンエアサンプラー	高 立	3	
自動イオウ分析装置	理学電気 サルファX	1	
デジタル騒音計	リオン NA-31	3	
ガスクロマトグラフ	島 津 GC-4BM 5A・7A	6	
高速液体クロマトグラフ	島 津 LC-3A	1	
分 光 光 度 計	日 立 139 島津 UV150 日本分光 UV-320	3	
赤 外 線 分 光 光 度 計	東芝ベックマン 1R-33	1	
自 記 分 光 光 度 計	日 立 356・323	2	
蛍 光 分 光 光 度 計	島 津 RF-540	1	
原子吸光分光光度計	日 立 180-18 島 津 AA610S・AA640	3	
水 銀 測 定 装 置	理学マーキュリー	2	
金属成分抽出装置	日 立 550	1	
低 温 灰 化 装 置	トラベロ LTA-302	4	

機 器 名	規 格	数 量	備 考
土壌試料抽出振とう装置	三 田 村 MRK	1	
水 質 自 動 分 析 装 置	テクニコン AAI	1	
T O C 測 定 機	日本分光 524 B型	1	
パーソナルコンピュータ	I B M 5550	1	
生 物 顕 微 鏡	オリンパス BHSU-SP	1	
藻 類 培 養 装 置	伊藤製作所 AGP-150 R	1	
全自動排水処理装置	同和鉱業 LIP50AH ₃	1	
乾 燥 器	タ バ イ	2	
監 視 用 船	ヤ マ ハ VV-25	1	
環 境 測 定 車	いすゞエルフ	1	